

別冊資料

1 検証授業 I 「やまなし」

- (1)学習指導案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2)ワークシート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (3)その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

2 検証授業 2 「ぼくのブック・ウーマン」

- (1)学習指導案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- (2)その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

第6学年 国語科学習指導案

指導者 平野 愛美

1. 研究主題

学ぶ意欲を高め、「豊かな読み」のおもしろさを実感させる国語科文学的文章の指導
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」を位置付けた授業実践を中心に～

2. 研究仮説

国語科文学的文章において、魅力ある言語活動を設定し、「個別最適な学び（マイプラン学習）」と「協働的な学び（学びのプレート）」を位置付けた授業を行えば、学ぶ意欲が高まるとともに「豊かな読み」のおもしろさを実感できるであろう。

3. 単元名 宮沢賢治の世界を案内しよう

教材名 「やまなし」宮沢賢治 資料「イーハトーヴの夢」畑中博
（「国語六 創造」光村図書）

4. 単元の指導目標

◎比喻や反復などの表現の工夫に気付くことができる。 (知(1)ク)

◎物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
(思C(1)エ)

○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。
(知(1)カ)

〈言語活動〉物語と資料を重ねて読み、作品世界について考えたことを書いて伝え合う。

5. 指導の立場

(1) 児童について

本学年の児童は、課題に対して一人でじっくり考える姿や友達の考えを聞いて自分の考えを深めようとする姿が見られるが、積極的に発言しようとしたり、主体的に取り組もうとしたりする姿はあまり見られない。言われるままに学習に取り組み「しかたない」から学ぶ様子や、興味がないと最初から活動に参加しない姿もある。物語文の学習については、4月に「帰り道」で視点や作品の構成に着目して読んでいる。また、日常的に読書の習慣が身に付いている児童が多く、「物語文は好きだ」という声が聞かれる。しかし、授業で並行読書を促してみても読む児童は数名だった。

(2) 教材について

「やまなし」は、宮沢賢治の深い思想性をもつといわれる作品の一つである。作品の構成は、「私」による一人称視点で書かれた外枠と、三人称の客観的な視点で書かれた「五月」「十二月」の二枚の幻灯という額縁構造になっており、対比している。作品全体の語り手は、「私」であり、「私」が写した「二枚の青い幻灯」を読者に語る構造ともいえる。物語の舞台となるのは、美しく幻想的な谷川であるが、「奪うものと与えるもの」「生と死」が交錯する生存競争の場でもある。「五月」では、春の輝く太陽の中で「かわせみ」による命の奪い合いがめまぐるしく展開する。かにの兄弟は、いつ襲いかかるかしの死の世界を恐れとして感じ取る。「十二月」では、あらゆるものが影をひそめる冷たい冬の水中に、「やまなし」が豊かな生命のぬくもりをもたらすことで、かにの兄弟にほのぼのとした平和な世界を与えている。また、擬声語・擬態語・造語・色彩表現・比喩など作者独特の言葉の響きの美しさ、不思議さなど、読者が想像力をふくらませ、その世界を豊かに広げるための言葉がちりばめられている。さらに、参考資料「イーハトーヴの夢」で作者の生き方や考え方と結び付けて考えることで、「やまなし」の解釈が深まる。友達と交流することで自分とは異なった考えにふれ、自分の読みを捉え直してそのおもしろさに気づくことのできる魅力ある教材である。

(3) 指導について

本単元は、資料「イーハトーヴの夢」を参照にしながら、その表現や構成、作者の思いなどの面から、「やまなし」に描かれた世界について、叙述をもとに自分なりに捉え、文章にまとめて伝え合う単元である。「やまなし」は作者独特の表現が多く、子どもにとって一読しただけでは作品世界を捉えることが難しく、学習意欲も続かないことが考えられる。

したがって指導にあたっては、「やまなし」の実を岩手県から送ってもらい本物にふれさせる。さらに、図書館支援員から「宮沢賢治の作品を全校に広げてほしい」という依頼を受けることで子どもたちの学習意欲を高めたい。また、単元のめあてを「宮沢賢治とその作品の魅力を見つけて」「宮沢賢治の世界」案内書で伝えよう」と設定することでゴールを明確にする。

家庭学習では、音読に取り組みせるとともに音読カードの裏に「物語教材の10の観点」をもとにしたクイズを掲載することで場面設定を読み取らせる。また、「宮沢賢治の世界を旅しよう」と題して宮沢賢治の作品を読む並行読書に取り組みさせ、複数の作品を読むことで、作者の世界観を捉えさせる。その際には、誰がどの本を読んだのかやおすすめの作品がわかるようにクラスごとに「並行読書マトリクス」に表すことで、並行読書をする動機付けとしたり、交流させる手立てとしたりする。そして、それぞれが「マイプラン学習」として学んだことを「学びのプレート」で比較・検討・集約を行い、「宮沢賢治の世界」案内書としてまとめさせる。これらの学習の過程で、一人で「やまなし」を読んでもわからないことが、他の作品や友達との交流を通して、同じ叙述でも友達との「読み」が違うことに気づいたり、それぞれの作品のつながりを見いだしたりして、新たに自分なりに意味づけていくことで、学びを深めていく子どもの姿やそのおもしろさや奥深さに感動する姿を期待したい。この単元で宮沢賢治の世界にどっぷりとひたらせ、その世界観や作品の魅力について気付かせたい。

6. 単元の評価規準

知識及び技能	思考力、表現力、判断力等	主体的に学習に取り組む態度
①文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。 ((1) カ) ②比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。 ((1) ク)	「読むこと」において、物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C (1) エ)	粘り強く物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりし、学習の見通しをもって作品世界について考えたことを書き、伝え合おうとしている。

7. 指導計画及び指導内容 (全8時間)

次	時	学習活動	指導・支援上の留意点 研究との関わり	評価規準
第一次	1	学習計画を立てよう 「学習の準備をしよう」 1. 図書館支援員からの動画を視聴する。 2. 単元のめあてを立てゴールイメージをもつ。 3. 本文を読み、学習課題を立てる。 4. ふりかえりをロイロノートに記入する。	○学習計画を立てる。 ・図書館支援員からの「宮沢賢治の作品を全校に広めてほしい」という依頼動画を視聴させ学習意欲を高める。 エンゲージメント ○付きたい力を明確にして単元のめあてを立てさせる。 国語科文学的文章の指導方法と理論 (例) 宮沢賢治とその作品の魅力を見つけて「「宮沢賢治の世界」案内書」で伝えよう。 ・単元のゴールの見通しをもたせるために、教師が作成した「「宮沢賢治の世界」案内書」を提示してイメージをもたせる。 ・単元のめあてをもとに、解決するための手立てを一人一人選択することと、自分で学んだことをもとに班でまとめることを伝える。 ・発表の際には、効果音をつけたり、寸劇をしたりしてもよいことを付け加える。 ・意欲を高めるために、クラスで代表を決めて全校に給食時間に放送することを伝える。 ○「やまなし」を読んで、学習課題を立てる。 ・「五月」と「十二月」のイメージ(自然の様子を中心に)を出し合う。 ・「やまなし」の実を見せる。 ・語句を確認するとともに物語に関する知識について写真等を掲示することで補ってから一言感想及び疑問を書かせる。 ・感想と疑問を出し合い、解決していきたい問いを決めて学習課題を立てる。 ・ペアや班で相談し、簡単に答えが出た問いは全体に出さない。 ・ペアや班で相談し、よくわからない、意見がわかれた、自信がない問いや、作品世界にかかわる問い、今までにない新しい学びにつながりそうな問いなど、話し合った方がよい問いをロイロノートで提出させ、全体で交流する。 ○本時のふりかえりを行う。 ・初めて知ったこと、気になった疑問や感想など ・ロイロノートの資料箱マイフォルダにふりかえ	文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。 ((1) カ) (知・技)

<p>2</p>	<p>「五月の世界」を調べよう</p> <p>1. 「五月の世界」を調べる。</p> <p>2. 調べたことを班で交流する。</p> <p>3. 班で話し合ったことを全体で交流する。</p> <p>4. ふりかえりをロイロノートにする。</p>	<p>りを保存させる。</p> <p>○「五月の世界」について自分の考えをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「五月の世界」を音読させる。 ・色に注目させるためにいろいろな「青」を提示して、五月の「青」のイメージを選択させる。 ・感じたこと（印象）について叙述をもとに考えさせる。 <p>〈着目する視点の例〉</p> <p style="text-align: center;">国語科文学的文章の指導方法と理論</p> <p>①谷川の水や光の様子 ②魚の様子 ③かへの会話や行動 ④たとえの表現 ⑤色 ⑥言葉の響き（オノマトペ） ⑦飛び込んできたもの など</p> <p>〈選択する方法の例〉 個別最適な学び</p> <p>①会話や行動描写にサイドラインを引く ②教科書の本文に色を塗る ③絵や図に表す ④かへの子らの気持ち曲線をつくる など</p> <p>○「五月の世界」について班で交流させる。</p> <p style="text-align: center;">協働的な学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの手立てでも、言葉への見方を豊かにするために、叙述をもとに想像したことについて根拠や理由をはっきりさせて交流させる。 ・共有ノートを用いて班でスライド1枚にまとめさせる。 <p>○班で話し合ったことを全体で交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出させたスライドをうつす。 ・「五月の世界」を「五月の世界は、美しい中に恐怖がある世界」とまとめる。 <p>○本時のふりかえりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よいと思った考え、納得したことなど ・ロイロノートの資料箱マイフォルダにふりかえり及び作成した資料を保存させる。 	<p>「読むこと」において、物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。</p> <p style="text-align: center;">(C(1)エ)</p> <p>(思・表・判等)</p>
<p>3</p>	<p>「十二月の世界」を調べよう</p> <p>1. ねらいをおさえた上で「マイプラン学習」を行う。</p> <p>〈マイプラン学習〉</p> <p>ねらい：</p> <p>「十二月の世界」はどんな世界かまとめる</p> <p>方法：</p> <p>①「十二月の世界」を読む。</p> <p>②感じたこと（印象）について叙述をもとに考える。</p> <p>③どんな世界か根拠や理由をはっきりさせてまとめる。</p>	<p>○「十二月の世界」について「マイプラン学習」を用いて自分の考えをもたせる。 個別最適な学び</p> <p>〈着目する視点の例〉</p> <p style="text-align: center;">国語科文学的文章の指導方法と理論</p> <p>①谷川の水や光の様子 ②魚の様子 ③かへの会話や行動 ④たとえの表現 ⑤色 ⑥言葉の響き（オノマトペ） ⑦飛び込んできたもの など</p> <p>〈選択する方法の例〉 個別最適な学び</p> <p>①会話や行動描写にサイドラインを引く ②教科書の本文に色を塗る ③絵や図に表す ④かへの子らの気持ち曲線をつくる など</p> <p>○「五月の世界」について班で交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの手立てでも、言葉への見方を豊かにするために、叙述をもとに想像したことについて根拠や理由をはっきりさせて交流させる。 ・ロイロノートを用いてスライド1枚にまとめ、提出させる。 ・早く終わった場合は、他の視点や方法からも考えさせる。 	<p>「読むこと」において、物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。</p> <p style="text-align: center;">(C(1)エ)</p> <p>(思・表・判等)</p>

	<p>2. 「十二月の世界」について発表する。</p> <p>3. ふりかえりをロイロノートにする。</p>	<p>○「十二月の世界」について全体で交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挙手させ発表したい子どもや手本となりそうな子どもが提出したスライドをうつす。 ・「十二月の世界」を「十二月の世界は、おだやかで希望があふれる世界」とまとめる。 <p>○本時のふりかえりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よいと思った考え、納得したことなど ・ロイロノートの資料箱マイフォルダにふりかえり及び作成した資料を保存させる。 	
4	<p>「宮沢賢治と出会おう」</p> <p>1. 宮沢賢治やその作品についての話をきく。</p> <p>2. ゲストティーチャーに質問する。</p> <p>3. 今後の学習計画について聞く。</p> <p>4. ふりかえりをハーフノートに書く。</p>	<p>○宮沢賢治やその作品に興味をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮沢賢治の作品「やまなし」で読むことのおもしろさに気づいてほしい等、授業の目的を伝える。 ・各教室でZOOMをつなぎ、ゲストティーチャーの方の話をきいて、本単元の学習意欲を高める。 <p style="text-align: right;">エンゲージメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーの話をメモをとりながらきかせる。 <p>【内容】</p> <p>①宮沢賢治とは？ 岩手県花巻市の様子（自然に関わって） 宮沢賢治の人柄がわかるエピソード 宮沢賢治の生涯（考え方など）</p> <p>②作品の紹介 イーハトーヴとは？ おすすめの作品やあらすじ紹介など</p> <p>③これから学習する子どもたちへ 宮沢賢治の人物としての魅力や作品の魅力 これまで学んできて感動したことなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問内容は、全員に事前に考えさせておくが、代表にさせる。できなかった質問はまとめてゲストティーチャーに送付する。 <p>○今後の学習計画について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮沢賢治の本を並行読書（動画視聴）を行い名簿に読んだ本をチェックして交流することを伝える。（並行読書マトリクス） ・「やまなし」の音読に家庭学習で取り組ませる。裏に物語の設定が読み取れるよう「やまなしクイズ」を掲載し解くように伝える。 <p style="text-align: right;">国語科文学的文章の指導方法と理論</p> <p>○本時のふりかえりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーフノートに記述させる。 ・初めて知ったこと、もっと知りたいと思ったことなどを書かせる。 ・ノートは回収して子どもの思いを把握する。 	<p>粘り強く物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりし、学習の見通しをもって作品世界について考えたことを書き、伝え合おうとしている。（主学態）</p>
5	<p>作品の主題にせまる</p> <p>1. 「やまなし」を題名にした理由を考える。</p> <p>2. それぞれのコーナーで調べる。</p>	<p>○「五月の世界」と「十二月の世界」を比較したり、作品と作者の共通点を見つけたりしながら、作品の主題にせまらせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ十二月にしか出てこないやまなしを使ったのか」「五月は必要ないのではないか」等の発問をして課題を引き受けさせる。 <p>○調べる視点を提示し「マイプラン学習」を行わせる。</p> <p style="text-align: right;">個別最適な学び</p> <p>〈調べる視点〉</p> <p>①「やまなし」と「かわせみ」はどんな関係なのか。</p> <p>②宮沢賢治はどんな人なのか。</p> <p>③宮沢賢治が「やまなし」で伝えたかったことはなんなのか。</p>	<p>「読むこと」において、物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 (C(1)エ) (思・表・判)</p>

		<p>3. 見つけた答えを交流する。</p>	<p>④宮沢賢治の他の作品はどんなものなのか。 ⑤気になったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の人数確保のため、2クラス合同（4組と5組）で実施し、場所は多目的ホールとする。 ・①やまなしコーナー②宮沢賢治コーナー③並行読書コーナーなど課題が解決できるような環境を設定し、教師を配置して質問に答えられるようにする。 ・①～③の共通点を見つけられると課題が解決できることを伝える。 ・それぞれのコーナーで友達と自由に交流してよいことを伝える。 ・次時に向けて、しっかり調べておくように伝える。 ・調べたことやわかったことは資料箱のマイフォルダに保存させる。 <p>①「やまなしコーナー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「五月」と「十二月」の世界や「やまなし」と「かわせみ」の関係を対比させる。 ・賢治の生き方や考え方と重なっている部分に線を引いておく。 <p>②宮沢賢治コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賢治の言葉 ・賢治の動画視聴 ・「イーハトーヴの夢」をまとめた掲示物 ・「イーハトーヴの夢」を参考に賢治の生き方や考え方をまとめる。 <p>③並行読書コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの本を選んで宮沢賢治の生き方や考え方、「やまなし」との共通点を見付ける。 ・並行読書マトリクス ・困っている子どもには「賢治が理想としていたのは五月と十二月のどちらの世界かな」と声を掛けて考えさせる。 <p>○できるだけたくさんの友達で見つけた答えを交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違うと思った場合は、根拠を示して修正させる。 ・よいと思った考え、納得した意見などロイロに記入したり、メモを写真にとったりして資料箱のマイフォルダに保管させる。 	
<p>第三次 （まとめる・ひろげる）</p>	<p>6 ・ 7</p>	<p>「宮沢賢治の世界」案内書」を作ろう</p> <p>1. 「学びのプレート」で比較・検討する。</p> <p>2. 担当を決めて「案内書」を作成する。</p> <p>3. それぞれが作成したものを一つ一つにまとめ</p>	<p>○「宮沢賢治の世界」案内書」をふれあい班ごとに多目的ホールまたは教室に集まってつくる。 協働的学び</p> <p>○「学びのプレート」で比較・検討させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで自分が学んだことや調べたことを「宮沢賢治の世界」案内書」にまとめる。 ・ロイロノートの共有ノートに自分がつくったものを送る。 ・共通点や新たな視点を見付けさせ、話し合いながら「案内書」の内容を決めさせる。 ・案内書の内容は、教師の例を参考にしてもよいし、オリジナルの内容を付け加えてもよい。 <p>○集めた情報や話し合ったことをもとに分担して作成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の内容がわからないなど、困ったらふれあい班で相談しながら行ってよい。 <p>○それぞれが作成したものを一つにまとめ内容等</p>	<p>比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。 ((1)ク) (思・表・判等)</p>

	内書」を完成する。	にあやまりがないか確認させる。 ・完成したら、模造紙に清書させる。 ・効果音や寸劇等の工夫を発表に加えてもよい。 ・発表練習を行い、修正する。	
8	<p>みんなで交流しよう</p> <p>1. 「宮沢賢治の世界」案内書を発表する。</p> <p>2. 発表のふりかえりを行う。</p> <p>3. 本単元のふりかえりを行う。</p>	<p>○宮沢賢治の世界を6年生へ案内しよう。</p> <p>・クラスで交流して、「宮沢賢治の魅力が伝わる発表はどの班か」という視点でクラス代表を決めさせる。</p> <p>・多目的ホールで1組、2組、3組、4組、5組の順で発表させる。</p> <p>・クラスと同じように代表を決めさせる。その際には、自分のクラスには投票できないことを伝える。</p> <p>○本時のふりかえりを行う。</p> <p>・作成した「宮沢賢治の世界」案内書は、各学年に掲示することを伝える。</p> <p>○本単元のふりかえりを行う。</p> <p>①「やまなし」の中で心をひかれた表現 ②作品世界を捉えるときに着目した点 ③これから物語を読むときの読み方</p>	<p>粘り強く物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりし、学習の見通しをもって作品世界について考えたことを書き、伝え合おうとしている。 (主学態)</p>
事後	<p>1. 図書支援員からのお礼の動画を視聴する。</p> <p>2. 宮沢賢治資料館及びイーハトーブ記念館にお礼の手紙を書く。</p> <p>3. 事後アンケート</p>		

やまなし①()番(名前)

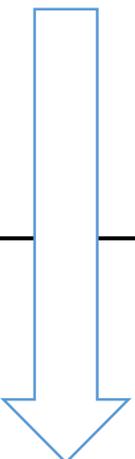
めあて 「五月の世界」について調べよう。

課題

【マイプラン学習】

⑦ 飛び込んできたもの	⑥ 言葉のひびき	⑤ 色	④ たとえの表現	③ かにの会話や行動	② 魚の様子	① 谷川の水や光の様子	〈着目する視点〉
							〈選んだ視点〉
				④ かにの子気持ち曲線	③ 本文に色づけ	② 絵・図	① サイドライン
感じたこと(印象)							

見つけた文章



感じたこと(印象)

「五月の世界」は

Blank box for the title of the text found.

世界

やまなし②()番(名前)

めあて 「十二月の世界」について調べよう。

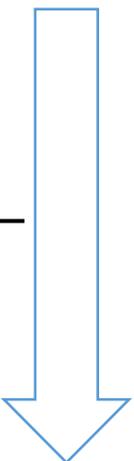
課題

Blank box for student information.

【マイプラン学習】

⑥ 飛び込んできたもの	⑤ 言葉のひびき	④ 色	③ たとえの表現	② かにの会話や行動	① 谷川の水や光の様子	〈着目する視点〉	〈選んだ視点〉
						〈方法〉	
			④ かにの子気持ち曲線	③ 本文に色づけ	② 絵・図	① サイドライン	
感じたこと(印象)							

見つけた文章



感じたこと(印象)

明るい しずか くつろぐ
 やさしい おちつく ひんやり うっとり
 温かい 陽気 のどか 心がおどる
 おだやかなど
 ★教科書309ページを見てみましょう。

「十二月の世界」は

Blank box for student response.

世界

学習活動	① 宮沢賢治について調べる。	② 調べたことから考える。	③ みんなで交流する。	④ 自分の考えをまとめてふりかえる。
目安の時間	10分	30分	10分	5分
学習方法	A タブレットで調べる B イーハトーヴの夢を読んで調べる C 記念館のパフレットで調べる	A 一人で B 同じ方法の人と C ちがう方法の人と	A グループで B 一人で	A 提出箱に送る
チェック				

課題

めあて

宮沢賢治について調べよう。

やまなし③()番(名前)

理由

な人

宮沢賢治先生は

調べたこと

学習活動	① 「やまなし」を題名にした理由を調べる。	② 調べたことから考える。	③ みんなで交流する。	④ 自分の考えをまとめてふりかえる。
目安の時間	15分	15分	10分	5分
学習方法	A やまなしコーナー B 宮沢賢治コーナー C 並行読書コーナー	A 一人で B 同じ方法の人と C ちがう方法の人と	A グループで B 一人で	A 提出箱に送る
チェック				

課題

めあて

宮沢賢治の伝えたいことを調べよう。

やまなし④()番(名前)

()

理由

を伝えたかったから。

宮沢賢治先生は

調べたこと

めあて 「学びのプリント」の材料を集めよう。

課題

案内書にのせるテーマ(例)

- ① 宮沢賢治のキャッチ「ピー(ピンク)
- ② 宮沢賢治の紹介(黄色)
- ・みんなに知ってもらいたいエピソード
- ・賢治先生の生き方や考え方
- ③ 「やまなし」の紹介(きみどり)
- ・五月の世界と十二月の世界
- ・イラスト
- ・印象をつくっている言葉
- ・かの子らの気持ち曲線
- ④ 賢治先生が伝えたかったこと(水色)
- ・題名を「やまなし」にした理由
- ⑤ 作品の「推し」ポイント(白)
- ・おもしろいところ
- ・すばらしいところ
- ・自分だけが気づいた魅力
- 「みなさんは気づきましたか？」
- ⑥ おすすめの他作品(赤)
- ⑦ その他 入れたいもの(オレンジ)



★今日の流れ★

- ① ふれあい班で集まってテーマを決める
- ② 各自でそのテーマについて
- イロノートのカード(色ごと)にまとめる

★次回の流れ★

- ① ふれあい班で集まってテーマの担当を決める
- ② 担当のテーマについて
- イロノートのカード(全員分)をまとめる

★次回の次回の流れ★

- ① 発表練習
- ・音をつけたり寸劇をしたりしてもよい
- ・7分程度でまとめる
- ・動画を撮影してみる
- ② クラスで発表会をして投票し、クラス代表を決める。

★次回の次回の次回の流れ★

- ① 交流会
- 1組・・・1、7、13、19、25
- 2組・・・2、8、14、20、26
- 3組・・・3、9、15、21、27
- 4組・・・4、10、16、22、28
- 5組・・・5、11、17、23、29
- 多目的・・・6、12、18、24、30
- ② 全体で交流会をして、学習をふりかえる。

やまなし⑥()番(名前)

めあて 宮沢賢治の世界案内書をつくる。

課題

学習活動	①ふれあい班で 集まって担当をわける	②担当の 文章をつくる <small>(終わったら見直しをしたり 班の人を助けたりする)</small>	③班で交流して よりよくなるように 修正する	④できたところから 順番に清書する
目安の時間	5分	20分	10分	10分
学習方法	A ふれあい班で相談	A ロイロノートで B プリントで	A よいところ B つけくわえ C 変更するところ	A ポスター
チェック				

担当分け

①宮沢賢治のキャッチ「ピー(ピンク)・宮沢賢治の紹介(黄色)
みんなに知ってもらいたいエピソード
賢治先生の生き方や考え方

②「やまなし」の紹介(きみどり)

・五月の世界と十二月の世界
イラスト
印象をつくっている言葉
かの子らの気持ち曲線

③賢治先生が伝えたかったこと(水色)
題名を「やまなし」にした理由

④作品の「推し」ポイント(白)
・おもしろいところ
・すばらしいところ
・自分だけが気づいた魅力
「みなさんは気づきましたか？」

⑤おすすめの他作品(赤)

⑥その他 入れたいもの(オレンジ)

やまなし⑦()番(名前)

めあて 宮沢賢治の魅力を伝えよう。

学習活動	⑤ 発表練習 5~7分程度	⑥ 発表	⑦ ふりかえり
目安の時間	10分	30分	5分

()班 声の大きさ	1	2	3	4	5
内容	1	2	3	4	5
魅力伝わり度	1	2	3	4	5
合計得点					

()班 声の大きさ	1	2	3	4	5
内容	1	2	3	4	5
魅力伝わり度	1	2	3	4	5
合計得点					

()班 声の大きさ	1	2	3	4	5
内容	1	2	3	4	5
魅力伝わり度	1	2	3	4	5
合計得点					

()班 声の大きさ	1	2	3	4	5
内容	1	2	3	4	5
魅力伝わり度	1	2	3	4	5
合計得点					

()班 声の大きさ	1	2	3	4	5
内容	1	2	3	4	5
魅力伝わり度	1	2	3	4	5
合計得点					

()班 声の大きさ	1	2	3	4	5
内容	1	2	3	4	5
魅力伝わり度	1	2	3	4	5
合計得点					

班・理由

()

()

「やまなし」音読カード()組()番名前()

★読むところは、教科書PIII～PI3Iの①やまなし（五月）②やまなし（十二月）③イーハトーヴの夢の3つから選んで読みます。③のイーハトーヴの夢は長いので、1ページずつ読んでよいです。

★①～③を全部読んでおくと授業も理解しやすいかもしれません(*^_^*)

★裏に「やまなしクイズ」があるのでチャレンジしてみましょう。

	日付	読むところ	疑問や新たに気づいたことなど一言	チェック
例	9/8	やまなし（五月）	かぶかぶってどんな感じだろう。	
①	9/9			
②	9/10			
③	9/11			
④	9/12			
⑤	9/13			
⑥	9/14			
⑦	9/17			
⑧	9/18			
⑨	9/19			
⑩	9/20			
⑪	9/24			
⑫	9/25			
⑬	9/26			
⑭	9/27			
⑮	9/30			
⑯	10/1			
⑰	10/2			
⑱	10/3			

♪かんたん！？むずかしい！？「やまなし」クイズ♪

	問 題	答 え				
第1問	「やまなし」の作者はだれでしょう？					
第2問	「やまなし」には何のきょうだいがでてくるでしょう？					
第3問	「やまなし」の最初と最後の一文はなんでしょう。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">最初の一文</td> <td>-----</td> </tr> <tr> <td>最後の一文</td> <td>-----</td> </tr> </table>	最初の一文	-----	最後の一文	-----
最初の一文	-----					
最後の一文	-----					
第4問	「やまなし」の場所はどこの設定でしょう。					
第5問	「やまなし」は、何月と何月があるでしょう。					
第6問	「やまなし」の事件その1は何でしょう。					
第7問	「やまなし」の事件その2は何でしょう。					
第8問	作者の理想郷を何というでしょう。					
第9問	作者の他の作品にはどんなものがあるでしょう。					

答えは先生まで！全問正解できるかな？

宮沢賢治の世界を旅しよう！

()組()番 名前()

★宮沢賢治先生の作品を読んでみましょう。自分だけのお気に入りの1さつを見つめられるかな。読んだら「クラス用」にシールを貼りましょう。

★①多目的ホールにある本を借りて読む ②動画で読み聞かせを聞く
どちらの方法でもよいです。

読んだ日	作品名	一言感想・気づいたことなど
/	銀河鉄道の夜	
/	風の又三郎	
/	ポラーノの広場	
/	グスコブドリの伝記	
/	注文の多い料理店	
/	どんぐりと山猫	
/	狼森と笹森、盗森	
/	烏の北斗七星	
/	水仙月の四日	
/	山男の四月	
/	かしわばやし之夜	
/	月夜のでんしんばしら	
/	鹿踊りのはじまり	
/	よだかの星	
/	カイロ団長	
/	ツエねずみ	
/	雁の童子	
/	雪渡り	
/	オツベルと象	
/	猫の事務所	
/	土神と狐	
/	けん十公園林	
/	なめとこ山の熊	

読んだ日	作品名	一言感想・気づいたことなど
/	竜のはなし	
/	北守将軍と三人兄弟の医者	
/	セロ弾きのゴーシュ	
/	チュウリップの幻術	
/	おきなくさ・いちょうの実	
/	祭の晩	
/	雨二モマケズ	
/	宮沢賢治伝記	

★読んだ物語の舞台になっているところ

イーハトーヴ



「宮沢賢治の世界」案内書



【作者の紹介】

【「やまなし」の紹介】

小さな谷川の底を写した、二枚の青い幻灯です。

五月は
な世界

五月の世界

【印象をつくっている言葉】

【かの子らの気持ち曲線】

十二月の世界

【印象をつくっている言葉】

【かの子らの気持ち曲線】

私の幻灯は、これでおしまいであります。

【宮沢賢治が読者に伝えたかったこと】

十二月は
な世界

【作品の推しポイント】

「」の紹介

「」の紹介

「宮沢賢治の世界」案内書

宮沢賢治のキョウチコピー



【作者の紹介】

- ①みんなに読んでもらいたいエピソード
- ②自分が読んだ作品と賢治の生き方や考え方が開かれているところ

①おもしろいところ、②自分だけが気づいた魅力

【作者の横断的視点】

【宮沢賢治が読者に教えたかったこと】

『お月さま』は、これでおしまいであります。

十二月の世界

五月の世界

叙述をもとにした谷川の様子や図
(かへの様子、水や光の様子、上から光たもの)

その印象を与えた言葉
(オノマトペのひびき、色、たとえの表現など)

【「やまなし」の紹介】

小さな谷川の様子を写した、二枚の青いお月さまです。

題名を「やまなし」にした理由

十二月は

冬の世界

かへの会話やとびこんできたものなどをとにかへの子との心算図帳をつくる

【お月さまをつくってらるる】

【お月さまの心算図帳】

【お月さまをつくってらるる】

【お月さまの心算図帳】

五月は

春の世界

- 発行読者でおすすめの作品を紹介する
 - ①おもしろいところ、すばらしいところなど
 - ②自分だけが気づいた魅力
- 「みなさんは気づきましたか？」

【お月さま】

【お月さま】

第6学年 国語科学習指導案

指導者 平野 愛美

1. 研究主題

学ぶ意欲を高め、「豊かな読み」のおもしろさを実感させる国語科文学的文章の指導
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」を位置付けた授業実践を中心に～

2. 研究仮説

国語科文学的文章において、魅力ある言語活動を設定し、「個別最適な学び（マイプラン学習）」と「協働的な学び（学びのプレート）」を位置付けた授業を行えば、学ぶ意欲が高まるとともに「豊かな読み」のおもしろさを実感できるであろう。

3. 単元名 翻訳文学作品をブックトークで紹介しよう

教材名 「ぼくのブック・ウーマン」 ヘザー＝ヘンソン作 藤原宏之訳
（「国語六 創造」光村図書）

4. 単元の指導目標

○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。
（知識及び技能（3）オ）

◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
（思考力、判断力、表現力等C（1）オ）

○人物像や物語などの全体像を具体的に想像することができる。
（思考力、判断力、表現力等C（1）エ）

○進んで文章を読んで理解したことにもとづいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
（学びに向かう力、人間性等）

〈言語活動〉物語を読んで考えたことを、自分の生活や読書経験と結び付けてまとめ、語り合う。

5. 指導の立場

（1）児童について

本学年の児童は、相手の意図をくみとって物事を理解する力があり、落ち着いた雰囲気である。授業展開の工夫や興味関心をひく教材等と出会わせれば、意欲的に学習に取り組む姿や主体的に活動する姿などが見られる。6年生の物語文の学習については、「帰り道」で2つの視点に着目して登場人物の立場になったり、登場人物どうしを比較したりしながら読み進めた。「やまなし」では、作者の独特な表現やその生き方を作品と重ね合わせながら、一文一文にこだわって丁寧に読み進め、想像力を広げて豊かに読むことができた。とくに、「やまなし」では、検証授業Ⅰ後のアンケートでは96%の子どもが「やまなしの授業はおもしろかった」と答えている。「マイプラン学習」で自分にあった方

法を選択しながら課題を解決し、それをもとに、「学びのプレート」で吟味して、ふれあい班でまとめるなど自主的に進められる活動や目的意識がはっきりした活動が有効だった。しかし、授業後の評価テストでは、学習への意欲が高かったものの正答率が低く、「確かな読み」の力が身に付いていなかったことがわかった。

日常的に読書の習慣が身に付いている児童が多く、「物語文は好きだ」という声が聞かれる。しかし、翻訳文学の作品については、これまで学んできた教材が翻訳文学であることに気付いていなかったり、図書室の蔵書が少なくふれる機会が少なかったりと児童の身近なものではないといえる。

(2) 教材について

「ぼくのブック・ウーマン」は、今年度から新たに掲載された教材で実話をもとにした翻訳文学であり、異なる文化や価値観と出会うことを意図した単元である。世界恐慌のあおりで経済的に停滞する1930年代のアメリカ山間部が物語の舞台である。学校や図書館といった公共施設がなく、文字文化に触れることができないへき地の子どもたちのために、移動図書館の役割を務めた人たち「ブック・ウーマン」がいた。山間部のへき地、厳しい自然の中に暮らす主人公のカルは、文字は読めないが、現在の生活に大きな不自由を感じずに過ごしている。カルは、本に何の価値も見いだせないため、本を大切にす家族に対して嫌悪感を抱いていた。その考え方が、本との出会いを通して変化していく。きっかけとなったのは、危険な山道を顧みずに何度でもやってくる「ブック・ウーマン」の姿であった。「ブック・ウーマン」と出会い、「ブック・ウーマン」に対する見方が変化するとともに、本を読むことに関わる描写も変化していく。一人称視点の比較的短い文章の構造は分かりやすいが、そこに置かれた言葉が何を表しているかを読むには、明示されていない行間を想像で埋めていく必要がある。「カル」の心情や言動は、児童のこれまでの経験と結び付けやすく、気持ちを想像しやすいため、主人公の立場に立って作品を読み進めることができる。

また、児童にとって、外国の児童文学を読むことは、他国の暮らしを知るとともに自国の暮らしを見直すこととなる。本を通して世界を知ることの意味や価値を捉え直す機会とすることができるとともに、別の翻訳作品への読み広げの機会とも考えられる。この作品を読み終わったあとには、本の魅力を再認識し、「本を読みたい」という気持ちの高まりを期待でき、日常に読みのおもしろさを広げることのできる教材だと考える。

(3) 指導について

1930年代のアメリカ山間部のある家庭を描いた場面設定は、現代の日本の子どもたちにとっては異世界である。主人公の語りにちりばめられた当時の生活を示唆する言葉を関連付けながら、主人公が生活している状況を豊かに想像できることが言葉を通して異なる世界を経験していく際に必要な力といえる。本単元では、これまでの作品で経験してきた読み方を意識的に活用することで、自分の生活とは異なる世界が描かれていることの意味や価値を言葉にして分かっていくことができる。つまり、本単元での学習経験はそれぞれの文学作品をつなぎ、教室での読みを自分の読書生活にもつないでいく役割を果たすことになる。

したがって指導にあたっては、まず、「宮沢賢治の世界」案内書によって、図書室にある宮沢賢治の作品の貸し出し数の変化を提示する。そして、今回は翻訳作品について一人ずつが「本の帯もしくはPOP」を作成してブックトークをすることを伝え、単元のめあてを「翻訳文学作品をブックトークで紹介しよう」と設定しゴールを明確にする。

家庭学習では、音読に取り組みせるとともに音読カードの裏に「物語教材の10の観点」をもとにしたクイズを掲載することで場面設定を読み取らせる。叙述に沿った読みができていくかということを確認を行うために、音読カードの裏に記載した「物語の設定」を全体で確認する。また、「翻訳文学で世界を旅しよう」と題して翻訳作品を読む並行読書に取り組みせ、翻訳作品に興味をもたせる。

「マイプラン学習」では、1時間ごとに区切るのではなく単元全体を計画的に進めさせる。その中で、必要に応じて「学びのプレート」で比較・検討・集約を行い、また「マイプラン学習」に戻るといった「マイプラン学習」と「学びのプレート」を行き来できる活動を仕組みたい。そうすることでより自立的に学習が進められると考える。また、進度を確認する作業も「学びのプレート」と連携させながら、子どもたちどうして確認し合う活動も入れる。これらの活動から、「本の帯もしくはPOP」を作成し、ブックトークを行わせる。「本の帯もしくはPOP」も①「ぼくのブック・ウーマン」で本の帯もしくはPOPを作成②他の翻訳作品で本の帯もしくはPOPを作成といったように、あらゆる場面で選択させることを意識し、学ぶ意欲を高めるとともに翻訳作品ならではのおもしろさに気付く姿を期待したい。

6. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。(3)オ)	①「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像している。(C(1)エ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことにもとづいて自分の考えをまとめている。(C(1)オ)	進んで文章を読んで理解したことにもとづいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。

7. 指導計画及び指導内容（全4時間）

次	時	学習活動	指導・支援上の留意点	研究との関わり	評価規準
ガイダンス・計画	1	「学習計画を立てて物語の設定を確かめよう」 1. 発表後の宮沢賢治の作品の図書貸し出し数を知る。 2. 普段読んでいる作品と翻訳作品の違いを意識し単元のめあてを立ててゴールイメージをもつ。	○学習計画を立てさせる。 ・図書館支援員から宮沢賢治の作品の図書貸し出し数をきかせる。 ・自分たちが発表したことで、全校に影響があったことを実感させる。 ○付けたい力を明確にして単元のめあてを立てさせる。 (例) 翻訳文学のおもしろさをまとめてブックトークしよう ・今回は、翻訳文学であることを伝え、これまで学習してきた「スイミー」や「お手紙」なども翻訳文学であることに気付かせたり、これまで翻訳作品を読んだことがあるかふりかえらせたりして興味をもたせる。 ・単元のゴールの見通しをもたせるために、教師が作成した本の帯やPOPを提示してイメージをもたせる。 ・単元のめあてをもとに、解決するための手立てを		「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像している。(C(1)エ)

		<p>3. 本文を読んで作品の全体像をつかむ。</p> <p>4. ふりかえりをロイロノートに記入する。</p>	<p>一人一人選択する「マイプラン学習」をすること、「学びのプレート」で自分が困ったときに友だちのアイデアももらえたり、チェックし合ったりすることを説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びのプレート」のチェックポイントがあり、合格しなければ先に進めず、チェックポイントには期限がある。 ・ブックトークは、動画を提出してふれあい班（ペアの1年生もしくは班員）に向けて、一人で行うことを伝える。 <p>○本文を読み、物語の設定を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に宿題で読ませておく。 確かな読み ・自分との生活の違いを感じるところや気になった言葉などに印を付けながら読ませる。 ・ペアや班で、どんな言葉に印をつけたかやその意味などを「学びのプレート」で交流したあと全体で交流する。 学びのプレート <p>(学びチェック①)</p> <p>①設定（時、場所） ②登場人物（自分の意志で動いたり、話したりするもの）</p> <p>③中心人物 （最初と最後で考え方や行動が変わった人）</p> <p>④語り手 ⑤事件（出来事）</p> <p>⑥大きく変わったこと ⑦三部構成</p> <p>⑧お話の図・人物関係図 ⑨一文で</p> <p>⑩おもしろさ</p> <p>○本時のふりかえりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて知ったこと、気になったこと、疑問や感想などをロイロノートで提出させる。 ・提出したものと同じものをロイロノートの資料箱マイフォルダにふりかえりを保存させる。 <p>○次回に向けて自分の学習計画を立てさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画には、付けたい力とめあてや学習計画例、学習方法や内容の選択肢などを提示する。 ・定期的に「学びチェック」の時間も設定する。 	
<p>追求</p>	<p>2</p>	<p>「カルの人物像や気持ちの変化を考えよう」</p> <p>1. カルの気持ちを考える視点を選択する。</p> <p>2. 調べたことを交流する。</p>	<p>○カル的人物像や気持ちの変化について自分の考えをもたせる。 マイプラン学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点を提示して、マイプラン学習で選択させる。また、カル的人物像や気持ちが描かれている言葉を集めさせる。 <p>①「カル」の視点から語られていることの効果</p> <p>②「カル」の「ブック・ウーマン」に対する見方</p> <p>③「カル」の本に対する見方</p> <p>④「カル」は自分が本を読めるようになったことに対しての思い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①～④もしくは、一部を選択させる。 ・早く終わったら、次に進めるよう促したり、「学びのプレート」コーナーでミニ先生になって教えたりさせる。 <p>○調べたことを交流したり、相談したりする場を設定しておく。 学びのプレート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「マイプラン学習」を行う中で、必要に応じて「学びのプレート」コーナーを活用する。 ・言葉に着目して、気持ちの変化を捉えさせる。 ・言葉への見方を豊かにするために、叙述をもとに想像したことについて根拠や理由をはっきりさせる。 	<p>進んで文章を読んで理解したことにもとづいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p>

3	<p>3. カルの気持ちについて本の帯または POP にまとめる。</p> <p>「物語を読んで考えたことをまとめよう」</p> <p>4. 自分の考えをまとめる。</p> <p>5. 自分の考えを本の帯または POP にまとめる。</p>	<p>○カルの気持ちについて調べて分かったことをまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートのカードを用いたり、画用紙に記入したりする。 ・帯や POP の枠は形式を提示しておく。 <p>(学びチェック②)</p> <p>○物語を読んで考えたことをまとめさせる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①あなたが最も心をひかれたところ ②本を読むことについて感じたこと ③自分自身の生活や読書経験などと結び付けて <ul style="list-style-type: none"> ・①～③もしくは、一部を選択させる。 ・早く終わったら、次に進めさせる。 <p>○自分の考えをまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートのカードを用いたり、画用紙に記入したりする。 ・POP の枠は形式を提示しておく。 ・本の帯または POP を完成させる。 <p>(学びチェック③)</p> <p>○1学期のブックトークを想起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画やプリントを配布して、確認させる。 ・ロイロノートにある前回の自分のブックトークをふりかえり、改善点を見つけさせる。 ・動画を撮影してくりかえし練習させる。 <p>○紹介する本を選択させ、ブックトークの内容を決定させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ぼくのブック・ウーマン ②他の翻訳作品 ③どちらも <ul style="list-style-type: none"> ・冬休みに本が読みたくなるようなブックトークができるように練習させる。 ・本の帯や POP を使って、1分程度のブックトークを完成させる。 ・「学びのプレート」でアドバイスし合う。 ・完成したら、動画をロイロノートで提出させる。 <p>(学びチェック④)</p> <p>○本単元の学習内容をふりかえる。</p> <p><ふりかえりの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語を読んで、自分の考えが広がったと思うのは、どんなことですか。 ・物語の内容と、自分の生活や読書経験などを、どのように結び付けて考えましたか。 ・自分の考えを広げるために、これからどんな物語を読んでいきたいですか。 	<p>日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。</p> <p>((3) オ)</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことにもとづいて自分の考えをまとめている。(C (1) オ)</p>
4	<p>「ブックトークの準備をしよう」</p> <p>6. ブックトークを行う見通しをもつ。</p> <p>7. ブックトークの内容を決定して練習する。</p>	<p>○1学期のブックトークを想起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画やプリントを配布して、確認させる。 ・ロイロノートにある前回の自分のブックトークをふりかえり、改善点を見つけさせる。 ・動画を撮影してくりかえし練習させる。 <p>○紹介する本を選択させ、ブックトークの内容を決定させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ぼくのブック・ウーマン ②他の翻訳作品 ③どちらも <ul style="list-style-type: none"> ・冬休みに本が読みたくなるようなブックトークができるように練習させる。 ・本の帯や POP を使って、1分程度のブックトークを完成させる。 ・「学びのプレート」でアドバイスし合う。 ・完成したら、動画をロイロノートで提出させる。 <p>(学びチェック④)</p> <p>○本単元の学習内容をふりかえる。</p> <p><ふりかえりの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語を読んで、自分の考えが広がったと思うのは、どんなことですか。 ・物語の内容と、自分の生活や読書経験などを、どのように結び付けて考えましたか。 ・自分の考えを広げるために、これからどんな物語を読んでいきたいですか。 	

「ぼくのブック・ウーマン」音読カード

()組()番名前()

★読むところは、教科書 P174～P183 です。

★場面ごとに読んでもよいですが、一回につき二つ以上の場面は必ず読みましょう。

また、授業までに読んでない場面がないようにしましょう。

一場面 (P174～P175) 二場面 (P176～P178L12)

三場面 (P178L14～P181) 四場面 (P182～P183)

★裏に「ぼくのブック・ウーマン」クイズがあります。授業で確認するので調べておきましょう。

	日付	読むところ	疑問や新たに気づいたことなど一言	チェック
例	12/2	場面1と2		
①	12/9			
②	12/10			
③	12/11			
④	12/12			
⑤	12/13			
⑥	12/16			
⑦	12/17			
⑧	12/18			
⑨	12/19			

♪ 友だちにきいても OK! 「ぼくのブック・ウーマン」を読もう♪

	問 題	答 え
(例)	いつの話でしょう？	今から九十年ほど前のアメリカ
第1問	物語の場所はどこでしょう？	
第2問	登場人物（自分の意志で動いたり、話したりするもの）はだれでしょう？（五人います）	
第3問	中心人物（最初と最後で考え方や行動が変わった人）はだれでしょう？	
第4問	中心人物が大きく変わったことは何でしょう？	
第5問	中心人物が大きく変わったきっかけは何でしょう？	
第6問	本に対する見方はどう変わってきたでしょう？	①（ ）みたいな文字 ↓ ②（ ）古びた本 ↓ ③ここに持ってきた物 ↓ ④（ ）と（ ）のある本 ↓ ⑤（ ）本 これは、この日届けられたばかりの新しい本
第7問	母さんは、ブック・ウーマンに何をプレゼントしたでしょう？	
第8問	「ぼくのブック・ウーマン」の作者はだれでしょう？	
第9問	「ぼくのブック・ウーマン」の訳者はだれでしょう？	
第10問	「ブック・ウーマン」とは、どんな仕事でしょう？	

本の帯や POP をつくりよう 『帯や POP は、本の看板』

<用意するもの>

- ①帯を書きたい本（「ぼくのブック・ウーマン」や他の翻訳作品）
- ②えんぴつ、ネームペン、消しゴム、定規、色えんぴつやクーピー
- ③下書き用紙

<書く内容>

①キャッチコピー

一文でその本の内容がわかるようにする
作中に出てくる印象的なセリフ

②あらすじ（3～5行）

主人公が何をするのか、主人公がどんな人かわかるようにする
一番印象的な出来事についてでもよい

③書名・著者・訳者・出版社

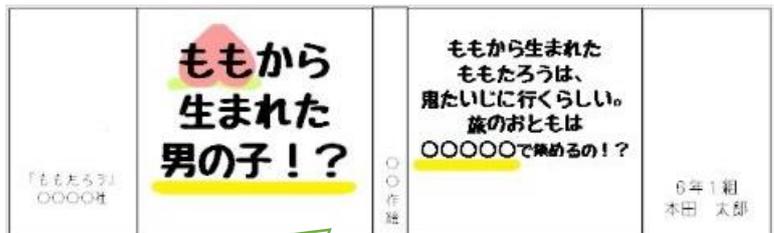
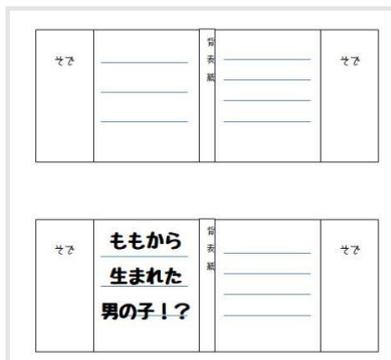
④自分のクラス・名前

★帯のつくりかた★

<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> そで </div> <p style="text-align: center;">書名 出版社</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 表紙 </div> <p style="text-align: center;">キャッチコピーや 印象に残るセリフ</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 背表紙 </div> <p style="text-align: center;">著書名・</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 裏表紙 </div> <p style="text-align: center;">あらすじ (3～5行)</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> そで </div> <p style="text-align: center;">学年・クラス 名前</p>
--	---	---	--	---

<コツ>

- ①文字を書く部分にえんぴつで横線を引く！
- ②キャッチコピーの文字はとにかく大きく！（線からはみでてでも気にしません）

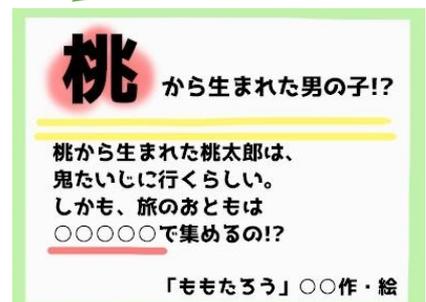
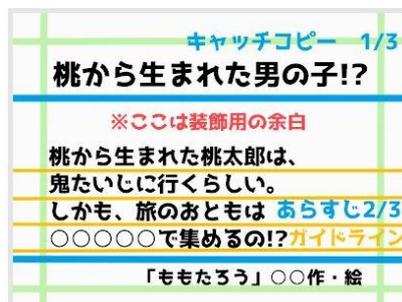


イラストをかいたり、色をつけたりと楽しんでかこう！

字を大きくしたり、小さくしたり工夫してかこう！

★本の POP★

キャッチコピーや 印象に残るセリフ
あらすじ（3～5行）
書名 著者・訳者



「ぼくのブック・ウーマン」学習計画書

6年()組()番 名前()

付けたい力：文章を読んで理解したことをもとに、自分の考えをまとめて伝える力

単元のめあて：翻訳文学のおもしろさをまとめて、ブックトークしよう！

○終わらなかった人は、「学びチェック」までに休み時間や放課後を使って準備をしておきましょう。

○課題は全て考えることができると力がのびます。でも難しいときは、友だちや先生と一緒にすれば大丈夫です。

学習活動	目安の時間	選んだ課題（○をつけましょう）	学びチェック
①オリエンテーション	40分	みんなで一緒にします♪	
①「ぼくのブック・ウーマン」の内容を深めよう。	40分	A「カル」はどんな人か？ B「カル」の「ブック・ウーマン」に対する見方はどう変化したか？また、きっかけはなんだったのか？ C「カル」の本に対する見方はどう変化したか？ D「カル」は自分が本を読めるようになったことに対してどう思っているか？	
②「ぼくのブック・ウーマン」を読んで考えたことをまとめよう	30分	A物語を読んで、どんなことを考えたか？ B物語を読んで、あなたが最も心をひかれたところはどこか？ C自分自身の生活や読書経験と結び付けてどんなことを考えたか？	
③ブックトークの準備をしよう ・キャッチコピー ・あらすじ ・書名、著者、訳者、出版社 ・自分のクラス、名前	40分	A「ぼくのブック・ウーマン」で本の帯 B「ぼくのブック・ウーマン」で本のPOP C「他の翻訳作品」で本の帯 D「他の翻訳作品」で本のPOP E「どっちも」で本の帯と本のPOP	
④ブックトークをしよう (50秒以上1分10秒以内)	10分	各クラスの出席番号が同じ人とします♪ 動画をとってロイロノートで提出します	

<ふりかえり>

①	
②	
③	